

◆協議1 拠点校部活動の拠点校について

委員 B案の「剣道部は男女それぞれ3人に満たない場合は拠点校に移行する」のは、男子と女子両方とも満たない場合なのか。

事務局 男女別で考えており、女子が揃わなかったら女子が拠点校に移行するが、男子は揃っていれば残すという考え。

委員 剣道部の大会参加は、3人は最小で、本来は5人はいるんですよね。3人でも団体戦は組めるが、最初から2敗しているということですよね。

事務局 剣道は特殊で、本当は5人で団体戦に出るが、3人いれば試合には出られる。しかし、軟式テニスは6人いないと出られない。

委員 指導者のところに結構な人数が出ているが、最初の会の時には、「外部委託になったら先生は指導されるか」というアンケートに、全部で2人だったと思うが、協力者とか随分多いが、間違いなくしていただける人数か。

事務局 選んでもらった延べ人数になっているので、複数選んだら両方でカウントになるので多くなるが、アンケートは令和6年度から7年度についての希望と令和8年度以降の希望と分けて実施しているので、令和8年度以降については、人数の確保が難しいが、6・7年度については記載の通りの教員が関わると返事を頂いている。

◆協議2 新規部活動について

委員 内子中学校においては、新規部活動に教員を配置することは難しい。他の学校で引き受けていただくのであれば別だが、本校職員は一杯いっぱいである。やるのであれば地域の指導者がいるのが大前提になる。

委員 地域の方に頼むということだが、やりたいとかやってもいいという方がいれば直ぐに出来るのか。指導者研修とか熱中症対策とかケガへの対応とか研修等を経てお願いすることになるのか。

事務局 そこは大切にしたい面である。指導者をどう確保して、どのように研修をしていくかということはしっかり決めておかないといけない。

委員 国や県レベルとかで研修をするのか。指導者のスキルを身に付ける期間があって、お願いする形になるのか。

事務局 これからの検討課題ではあるが、来年度からとなると十分準備してスタートするのは難しいかもしれない。研修を行いながら活動が始ま

るのはあり得る。指導者を選定するところはしっかりやっていきたい。

事務局 拠点校部活動にした場合、生徒の輸送の問題があるが、こちらはスクールバスを活用しながら行いたいと思っている。顧問の問題だが、拠点校部活動を維持するためには、顧問の先生は教員で持っていただく必要があるので、顧問は教員にまずはお願いしたいと考えている。

委員 輸送の関係だが、内子中は五十崎中の移動についてもバスになるのか。

事務局 乗車できる人数内であればバスになるが、移動人数が多い場合は、自転車移動も想定しないといけない。

委員 拠点校になると、冠はどうなるか

事務局 名称をどうするかは悩んでいる。他県の例は、拠点校になる中学校名が名称になっている。アイデアをいただきたい。

◆協議3 その他

事務局 この場で決めるのは難しいと思う。案を持ち帰って地域の方や保護者、先生に意見を聞いて欲しい。意見を聞いて集約・まとめてそれを元に次回検討したい。9～10月で部活動の種類で生徒と先生、保護者にアンケートを取りたい。それを元に検討して行きたい。推進計画は10月末で形をとりたい。11月には町P連の懇談会があるので、ご意見をいただき、12月に最終調整を行いたい。

来年度の受け入れに向けて、1月に周知し、2月には入学説明会で説明、町内一斉の体験入部を取りたい。今の学校にない部活も選択できることになるので、体験入部が必要と考えている。3月にはどの部活に入るか希望届を出してもらい、各学校で体制作りを行う。4月からは拠点校での体制で開始する予定である。

司会 次回は委員の皆様には大変ご苦労かけるが、ご自分の組織や自分の考え方をまとめていただき、事前に事務局まで送っていただきたい。

委員 対象の保護者は1・2年生の保護者か。

司会 1・2年生の保護者で構わない。保護者の意見を聞いて、その後アンケートを取るようにしているので、少しずつ固めて行きたい。

委員 系統立ててアンケートは取るから、委員の動ける範囲で意見をまとめるということで構わないか。全校集めるというのではなく。

司会 構わない。叩き台をつくるために意見を集約したい、叩き台を元にアンケートを取りたいということ。

委員 A案とB案があるが、大瀬中に拠点校がないが、新規については大瀬中でやれないか。

- 事務局 今ある部活動で検討したが難しいと感じた。
- 委員 A案にした場合、内子中と五十崎中に集まってくるのであれば、小田に行くのは流れが逆になる。拠点校は内子中と五十崎中に集約すればやり易いと思うが。
- 司会 それが事務局の本音である。移動のことを考えると効率がいい。部活動の地域移行は、地域に移行することで学校に移行するのではない。
- 委員 地域移行は、休日だけでなく平日もか。
- 司会 当面は休日のみだが、それを一遍にやったほうが良いということで、指導者の問題で休日だけというのも難しい。
- 事務局 国が示しているのは休日の部活動は地域移行にということである。
- 委員 内子町は平日も移行するのか。
- 事務局 平日と休日で違う関わりになると生徒が混乱するので、内子町は平日も一緒にするのが良いという判断である。他の自治体は休日のみで進めるのがほとんどで、平日も含めるのはあまり例がない。
- 委員 指導者が一人であれば難しいが、複数いれば交代で出来る。
- 司会 拠点校で集約すれば指導者も集まりやすい。分散すれば指導者も分散しないといけない。
- 委員 今までの議事録はホームページに載っているか。議事録を保護者にも見て貰わないと意見集約ができない。
- 事務局 2回目までの議事録は載っている。意見集約いただく際は、文書で依頼する。今日の議事録やA案・B案についてもホームページに載せてから依頼したい。
- 委員 今の1年生や2年生も拠点校になったら別の部活が出来るか。
- 事務局 それができる形が良いと考えている。
- 委員 マチコミメールを利用してホームページを見て頂くようにしては。
- 事務局 マチコミメールが使えるか検討したい。